



舞鶴市立明倫小学校
令和7年7月18日



夏休みを前にして～体験が心を育てる～

4月から4か月間にわたる1学期を終え、今日、終業式を迎えました。この間、子どもたちは、新しい学年の学習に、生活に、よく頑張りと、力を伸ばすことができました。一人一人の子どもたちを見ていますと、4月当初に比べて一回り大きく成長したことに気が付きます。それぞれが、毎日の学校生活の中で友達と学び合い、つながりを深めて、自分が持っている「よくなろうとする種」を大切に育て、たくましく成長してきました。子どもたちが学期の振り返りとして持ち帰ります通知表にも、その成長の一端が記されています。「これができるようになったね。」「頑張ってきたから、このことが伸びてきたね。」と、小さな達成や努力に対して褒め励まし、次への意欲につなげていただきたいと思います。



「大きく育った学級園のヒマワリ」

子どもたちの背丈の2倍以上に育っています

さて、いよいよ明日からは待ちに待った夏休みです。子どもたちは、日々の学びの中でたくさんの知識を身に付けてきましたが、それを本当に自分のものにするには、「体験」が欠かせません。

自然の中で虫を追いかけたり、家族と一緒に料理をしたり、地域の行事に参加したり——そんな何気ない体験の一つ一つが、子どもたちの心を豊かにし、学びを深めてくれます。教室では学べないことを、夏休みはたくさん教えてくれるのです。

失敗してもかまいません。うまくいかなくても、それが「生きた学び」になります。大切なのは、自分の目で見て、耳で聞いて、手で触れて、心で感じる。そうした体験が、子どもたちの未来を支える大きな力になります。この夏、ぜひお子さんと一緒に「心に残る体験」を探してみてください。きっと、かけがえのない思い出とともに、大きな成長が待っているはずです。

後になりましたが、この1学期間、保護者の皆様、地域の皆様から本校教育にお寄せいただきました温かいご支援ご協力、本当にありがとうございました。お陰様で1学期をしめくることができましたことに、心から感謝申し上げます。

校長 岡本 恵理子 教職員一同

スクールビジョン「目指す子ども像」 夏休みも、こんな子に!!

自ら学び続ける子

1学期に身に付けた「自学の力」を活かして、計画的に学習しましょう。

人とのつながりを大切にする子

家族や親せき、地域の人など、夏休みも挨拶を交わしたり、行事で一緒に汗を流したり会話をしたりする中で、色々な人とのつながりを深めましょう。

心も体もきたえる子

自分で何か目標を決め、挑戦してみましょう。スポーツなどで体を鍛えること、自由研究や自学、読書、家庭での仕事など、何か一つでもやり切ったと言えるものを作りましょう。

自分の命を大切にする子

たった一つのかげがえのない命。水の事故、交通事故、熱中症などに気を付けて元気に過ごしましょう。

